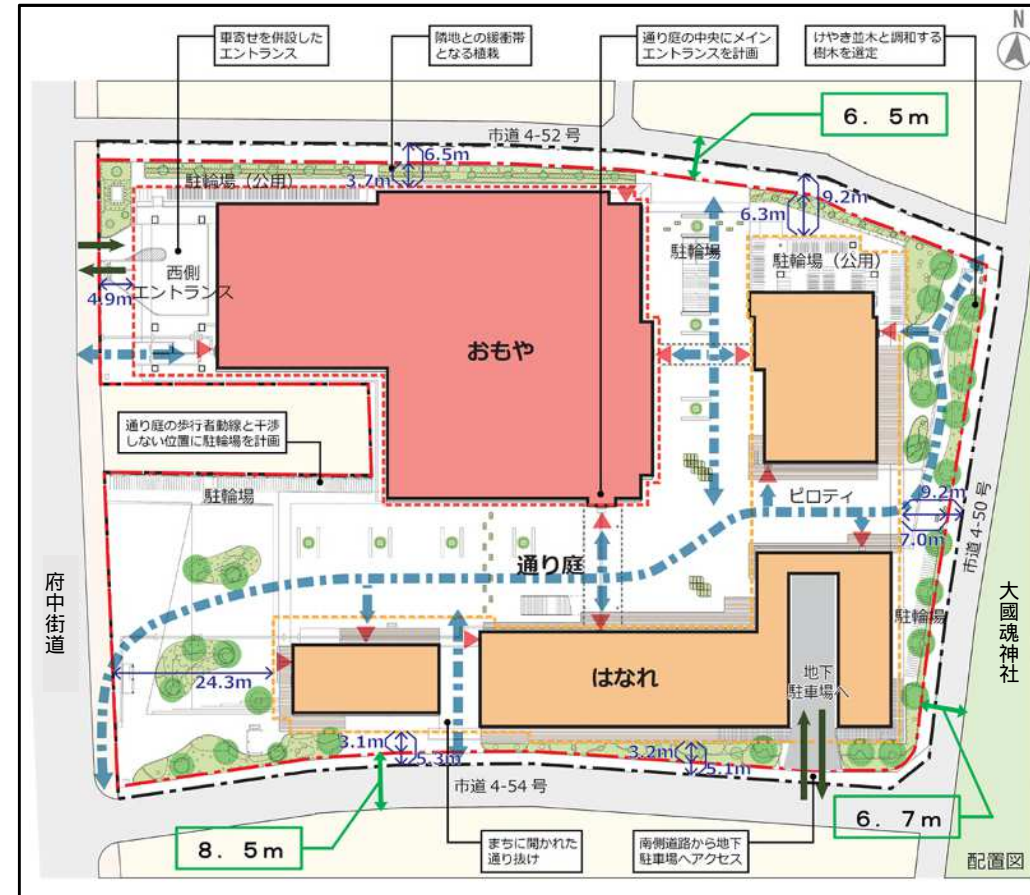


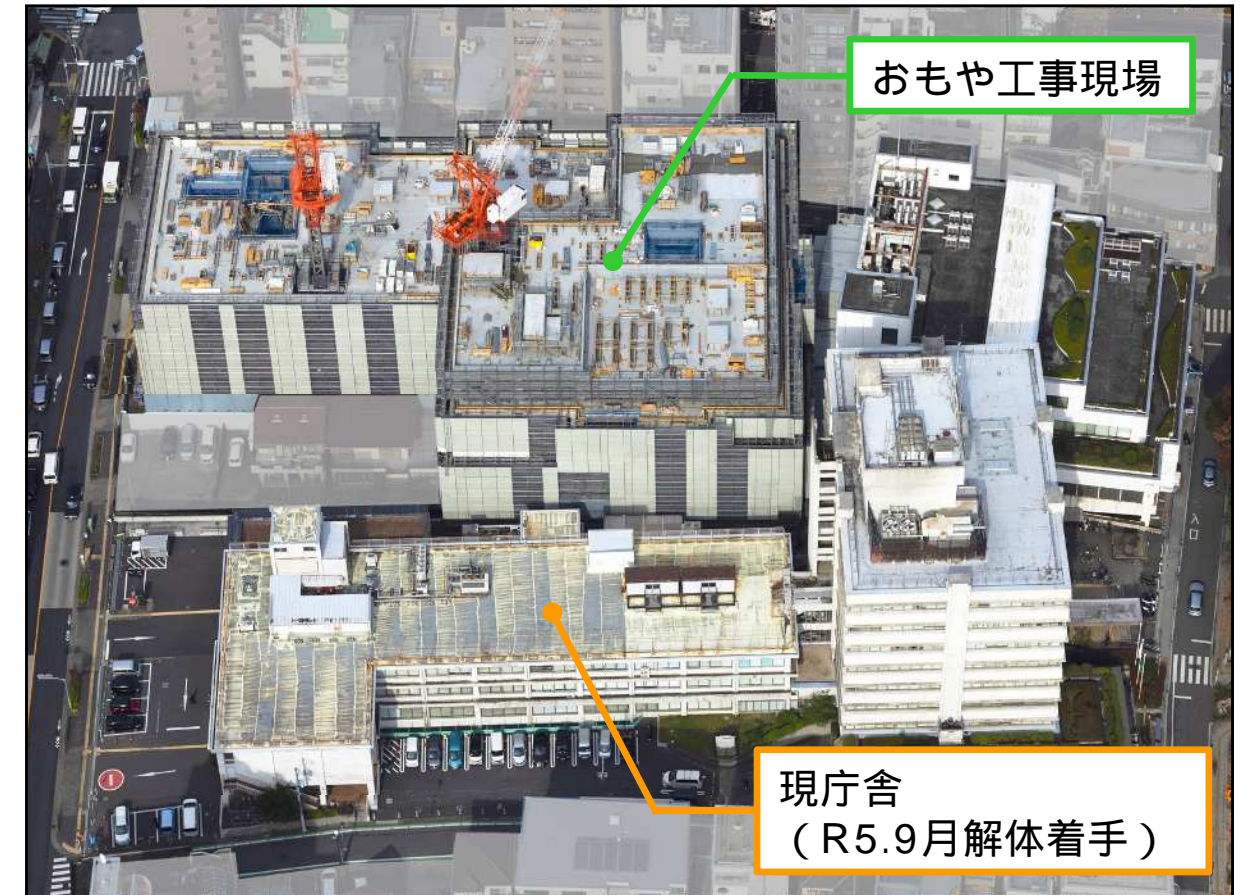
【建物概要】

敷地面積	11,064.85㎡
用途	事務所、図書館、店舗、駐車場
構造	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造(免震構造)
階数	地上6階 地下1階
最高高さ	30.14m
延べ面積	32,362.67㎡
建築面積	6,349.29㎡

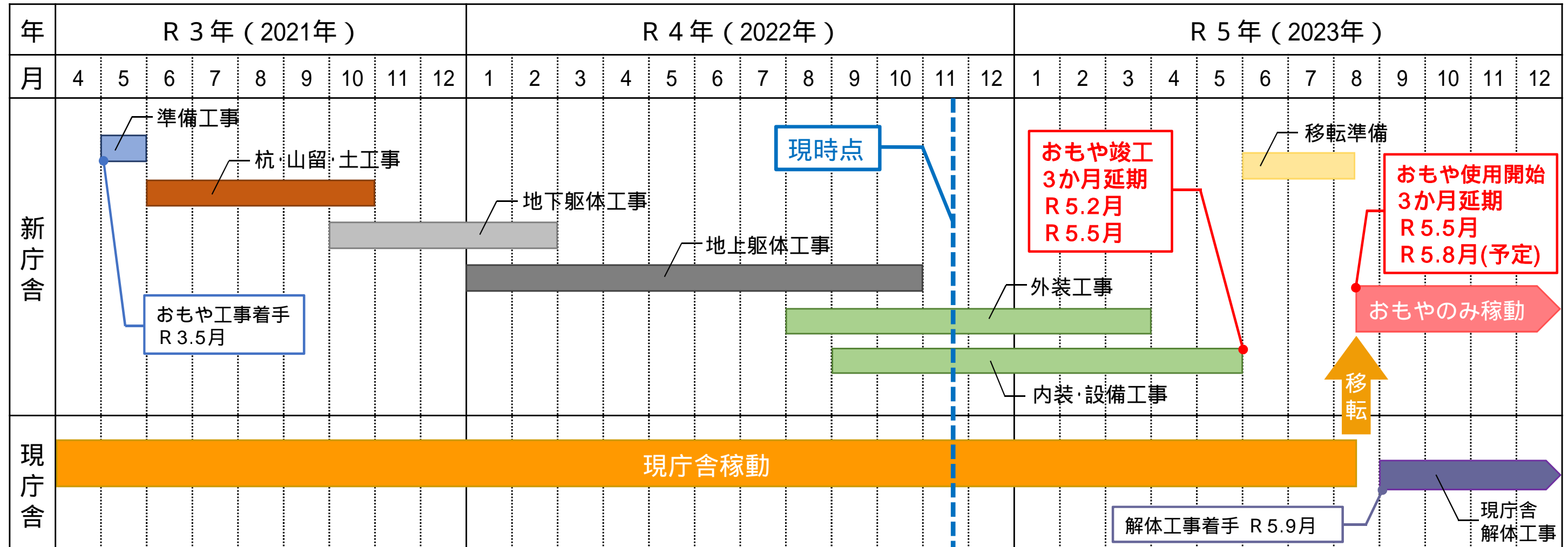
【配置計画】



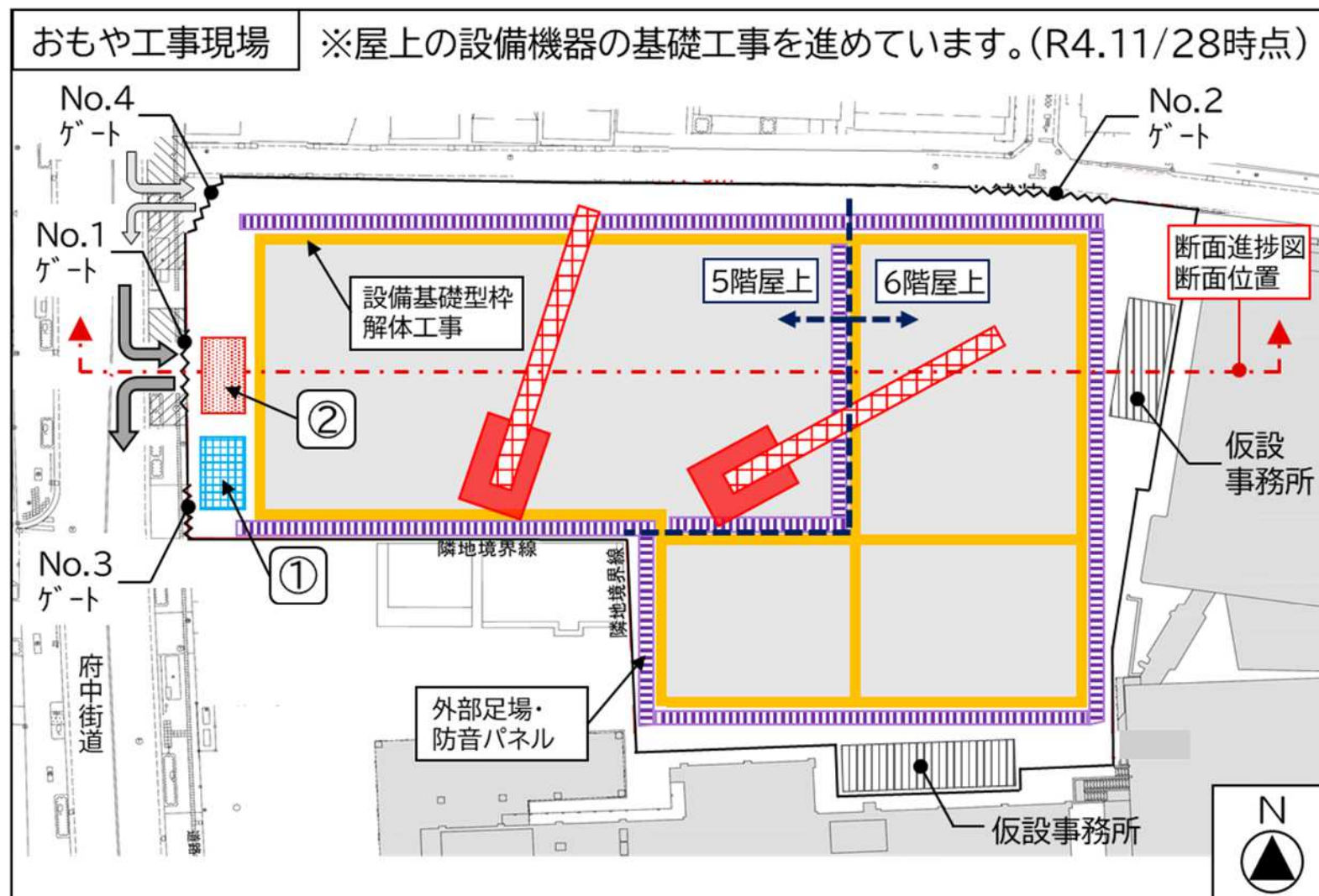
【航空写真 (R4.11月17日時点)】



【工程表】



【平面進捗図】



電気配線工事



- ・照明やコンセントに電気を送るため、配線工事を行っています。配線工事では、LANケーブルやテレビ線といった信号を送る線も併せて設置しています。
- ・天井や壁の内側、床下に配線しているため、建物が完成すると見えませんが、建物内の至るところに敷設しています。

空気調和設備工事



- ・空気調和設備は、冷房や暖房といった温度管理のほか、湿度管理や空気の浄化といった重要な役割を担う設備です。
- ・内蔵コイルで冷却又は加熱した空気を、ダクトや床下を介して諸室に送風します。また、建物利用者が快適に過ごせるように、温湿度計器を各所に設置し、コンピュータで自動制御します。

雨水貯留浸透槽の設置



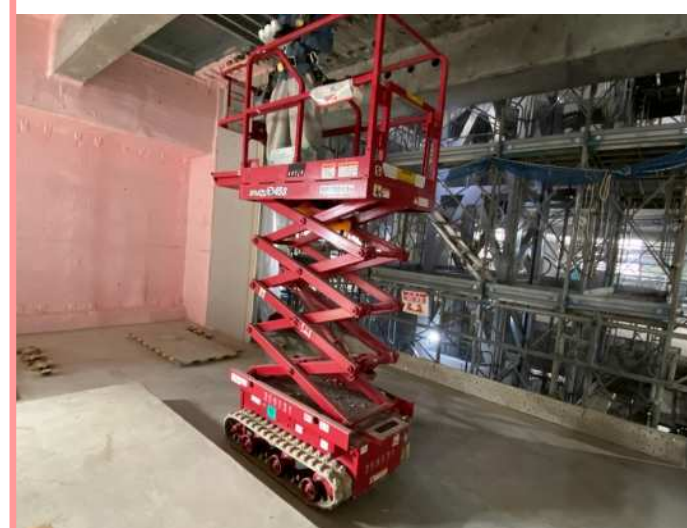
- ・雨水を一時的に貯留し、地中へ徐々に浸透させることで、下水道や河川への雨水の流出量を抑制する施設です。
- ・プラスチック製ブロックを積み重ねて構築し、敷地全体で280㎡(家庭のお風呂で約1,400杯分)の雨水を貯留します。最終的に、土の流入を防ぐ透水シートで覆います。

オイルタンク(非常発電機用)の設置



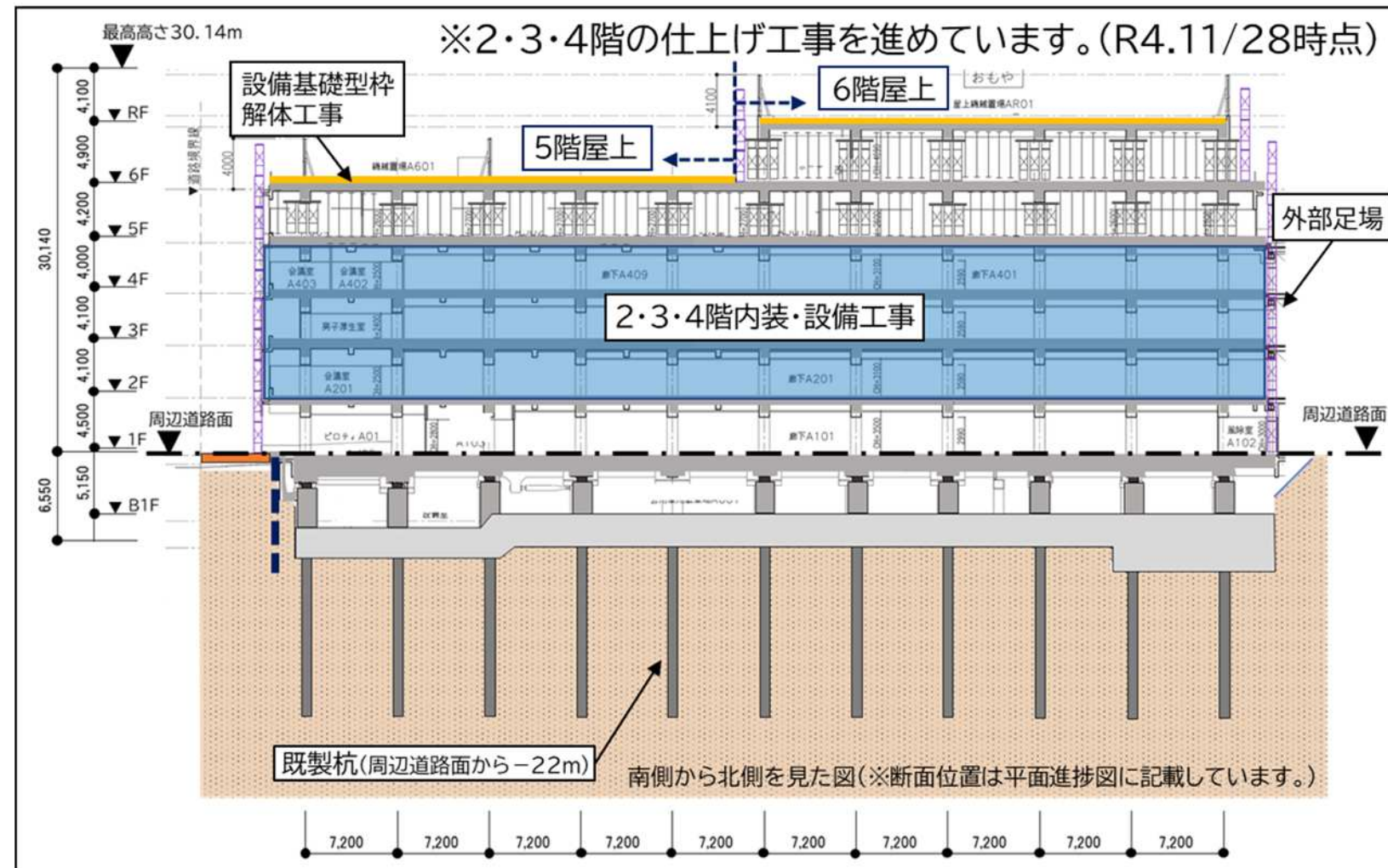
- ・予期せぬ事故や災害が発生し、建物への電力供給が停止した場合、非常発電機が稼働して電力を供給します。
- ・オイルタンクは、地下に埋設して、3日分の発電に必要な15,000リットルの軽油を貯蔵します。

機械の紹介:高所作業車(クローラ式垂直昇降型)



- ・高所作業車は、高所で作業するための足場(作業床)の役割を担い、内装・設備工事に欠かせない機械です。現場では、高さ約5メートルまで昇降する作業車を使用し、手元のリモコンで横移動や昇降を自在に行います。
- ・使用にあたっては、特定の教育を修了する必要があるため、作業者が修了証を携帯しているか毎回確認しています。

【断面進捗図】



内装工事

建具工事(アルミ製サッシ・窓ガラス)



- ・建物の外周部に、アルミ製サッシを2階から順に設置しています。アルミは、木製や鉄製に比べて、サビに強く、軽くて加工が容易という特徴があり、外装建具に広く使用されています。
- ・サッシの枠内には、窓ガラスとして断熱性能の高いLow-E複層ガラスを設置しています。

断熱工事(発泡ウレタン吹付)



- ・断熱工事として、建物の外壁や天井の内側に、発泡ウレタンを吹き付けています。発泡ウレタンとは、ウレタン樹脂と発砲剤を混ぜたもので、専用器具で高圧噴射し、現場の形状に合わせた断熱材を形成します。
- ・隙間なく施工できるため、気密性が高まり、結露防止や空調の効率化が図られます。

見本品作成:排水管路の確認



- ・建物の床や壁、天井内には、水道管やトイレの排水管、空気を通すための通気管など数多くの配管を設置しています。
- ・排水管は詰まると、トイレが流れないなどのトラブルが生じるため、実際の配管ルート再現した見本品を作成し、水などを流して、問題が発生しないか検証しています。

工具の紹介:建築設備墨出しシステム



- ・配線や配管、設備機器を設置する「位置」を現場に示すため、「建築設備墨出しシステム」を活用しています。装置に予め図面を取り込み、現地でタブレットを操作することで、自動的にレーザー光で位置を表示するシステムで、作業の正確性や効率性の向上に役立っています。

機械の紹介:ミニクレーン・工事用エレベーター



- ・ミニクレーンは、小型の移動式クレーンで、最大約3トンの揚重作業が可能です。建物内でも使用可能で、積み荷の運搬などに活躍しています。
- ・工事用エレベーターは、人と資材を運ぶために使用します。建物の高さに合わせてガイドレールを継ぎ足すことが可能で、組立・解体が容易です。